教育委員会（ 12月 ）会議録（要点筆記）						
招 集 年 月 日	令和 6年12月25日（水）					
招 集 の 場 所	白馬村保健福祉ふれあいセンター 2階学習室					
開 閉 会 の 日 時 及 び 宣 言	開 会	令和 6年12月25日（水）午後 1時33分				
	閉 会	令和 6年12月25日（水）午後 2時55分				
出 席 委 員	職 名	氏 名	職 名	氏 名	職 名	氏 名
	教 育 長	横 川 秀 明	教育長職務代理者	幅 下 守	委 員	松 沢 亨
	委 員	武 田 弥 生	委 員	服 部 知 子		
事 務 局	教 育 次 長	横 川 辰 彦	生涯学習センター課長	松 沢 宏 和	子育て支援課長	内 山 明 子
	公 民 館 長	太 田 洋 一	教 育 係 長	今 井 志 保		

会議の要旨

1 開 会

[教育長]

開会を宣言した。

2 令和6年11月定例会の会議録について

[教育長]

異議なく承認された。

3 報 告

○教育長報告

12月4日総合教育会議の際、ヒスタミン食中毒が給食センターで発生した。先々週に保護者説明会と記者会見を行った。

12月5日に第3の居場所の開所式があった。

12月8日に子育てのタウンミーティングを開催した。大雪の中での開催となり参加者は10数名。

17日に学力向上委員会が中学校で開催された。

19日に区長会議があった。

12月9日から18日まで12月の定例議会が開催された。教育委員会関係では、人材育成についての質問があった。中学校の体験学習と進路指導について答弁した。

○教育次長報告

学校の年末年始休業は、小学校が24日から中学が25日からで、南小が1月7日から北小が9日から中学が8日から始まる。

12月に南小で水疱瘡が一時流行した。

12月11日に文部科学省所管補助金の会計検査院による検査を受けた。全国的に学校施設のトイレ改修事業の状況を調べており、長野県においても事業を実施した市町村の多くが対象になった。白馬村も、令和4年度白馬中学校のトイレ洋式化工事が対象になった。今回は補助金の交付が適切かではなく実態調査で、今後その調査結果で何らかの指摘がある予定。

○子育て支援課長報告

小学校が冬休みに入り、児童クラブを南小で実施している。南小と北小で2学期制と3学期制の関係もあり、夏休みと冬休みの入る日が異なり、授業日も異なっており、児童クラブの運営に苦労している。

来年度の保育園の申し込みを行った。3歳以上児についてはこれで決定通知を出す。未満児については1月に通知を出す。今の時点で0歳児が9名、1歳児が40名、2歳児が23名。4月の時点では全員受け入れ可能の予定。

○生涯学習スポーツ課長報告

12月16日にスキー大会の関係で、村と陸上自衛隊松本駐屯地の協定調印式を行った。教育長が参加し、この冬に行う全国的な大会、高校選抜、Far East CUP スラローム大会の調印式である。

今年はシーズン初めに雪が多く降ったため、スノーハーブでカラマツが倒れている。倒木の処理作業をやっているが、人に被害が出ないように注意して行いたい。

○公民館長報告

12月7日に第10回はつゆきコンサートを開催した。約150名参加した。

14日にクリスマスパネルシアターを行い、子どもが70名、親子で100名を超える参加があった。

○学校の報告

12月17日の校長教頭園長合同会議の報告に基づき、教育係長が報告した。

○保育園の報告

12月17日の校長教頭園長合同会議の報告に基づき、子育て支援課長が報告した。

4 議 事

○承認第29号 白馬村保育士移住支援事業補助金交付要綱の制定に対する意見について

[子育て支援課長]長野県がこの補助金の要綱を作った。それに準じて白馬村も保育士の移住を促進し、保育士の確保および定着を図るため策定した。第2条の定義は、移住ということで長野県外から就職、住民票の移動を伴うものが対象。県外の学校を卒業して戻って来た人は対象外。第4条の対象者は村内の保育所等に就職し、3年以上勤務する者。第5条の補助金額は60万円。30万円は県の補助がある。第7条の交付申請期限は、就職した年度の属する3月31日まで。令和7年4月1日から施行なので、来年度就職した人からが対象。第9条は補助金の返還についてで、3年間働く意思があったのに、それより早く退職した場合について記載している。

[委員]第5条の60万円の根拠は。

[子育て支援課長]県が60万円なので、県と同額にした。県が30万円、村が30万円。

[委員]本人は県にも申請するのか。

[子育て支援課長]村に60万円申請して、村が県に30万円請求する。

[教育次長]県の限度額が60万円。半分補助するもの。

[委員]第7条、就職した当該年度の属する日ではなく、就職した日の属する当該年度ではないか。年度の属する日というのはどうなのか。就職した4月1日が属する年度では。

申請はあくまでも就職してからだと、一番早くても例えば4月1日。返還は申請日から年数を計算すると不利になるのでは。就職して半年後ぐらいに申請した場合、そこから2年以内でも実際に働いているのは4月1日から数えると2年以上になるのに全額返すのは、どうなのか。

[教育長]実際、申請は就職した4月1日にするだろうが、少し修正を考えてほしい。

・全員賛成で承認された。

○承認第30号 特別支援教育就学奨励費及び就学援助費の支給単価の一部改正について

[教育次長]金額については国の基準に合わせている。国基準に変更があり、小学校の新入学用品費が改正になったので、合わせて改定したい。支給単価は特支国庫補助基本額を使用しているが、修学旅行費については、保護者負担を減らしたく、要保護の方が高額なため要保護を採用している。曖昧だったので注釈を追加

した。

・全員賛成で承認された。

○承認第31号 白馬村妊婦一般健康診査実施要綱の一部改正に対する意見について

[子育て支援課長]妊婦の健診について県の医師会と単価契約をして行っているのだが、診療報酬改定のたびに金額が変わる。それが別表に入っていると、毎年、要綱の改正が必要になる。別表の金額を削除して、第8条で、別表に定める請求金額を、契約医療機関において定める健康診査料の額に改めた。これによって毎年の要綱改正を不要にした。

・全員賛成で承認された。

○承認第32号 令和6年度白馬村一般会計補正予算(第6号)(教育予算)に対する意見について

・教育次長、子育て支援課長、生涯学習スポーツ課長が、それぞれ主管課の補正予算について、資料に基づき説明した(教師用指導書購入、施設型給付費、子育て交付金関係の過年度還付金、第3の居場所補助金、ワールドカップ負担金、スプリンクラー修繕)

[委員]子どもたちのデジタル教科書の使用の見通しは。

[教育次長]あまり進んでいない。現在、各学校が必要な教科については計上している。いずれは紙の教科書が無くなり全てデジタルになっていくと思う。だが、まだ全国的にタブレットの普及など、そこまで至っていない。国もそこまでは求めていない。多く使用しているのは社会と算数である。

・全員賛成で承認された。

○議案第75号 就学支援児童生徒の就学先について

[子育て支援課長]令和7年度に小学校1年生に上がる児童と中学校1年生に上がる生徒の就学先の一覧。教育支援委員会での判断である。令和6年度中に就学先の変更をする在校生の児童生徒の一覧も載っている。保護者にも伝え了承を得ている。

・全員賛成で可決された。

○議案第76号 令和6年度白馬村スポーツ功労賞の被表彰者に対する意見について

[生涯学習スポーツ課長]11月にウイングで表彰を行ったが、その追加である。所属が白馬村スキークラブ外で漏れていた選手。

・全員賛成で可決された。

○議案第77号 白馬村ネーミングライツ事業実施要綱の制定に対する意見について

[生涯学習スポーツ課長]第1条の趣旨として、白馬村の新たな財源を確保し、その財源により公共施設を維持管理するもの。具体的にやりたい施設はウイング。魅力向上を目的として実施するネーミングライツ事業に関して必要事項を定める。定義としてネーミングライツは、公共施設に名前をつけること。ネーミングライツパートナーは、契約を締結した企業のこと。第4条の対象施設は、村の所有する公共施設。第8条のネーミングライツの事業には2つ方法があり、第1号は施設特定型。村が施設を指定し、ネーミングライツのパートナー企業を募集するもの。今回のウイングは、施設特定型。もう1つの施設提案型は、ネーミングライツになりたいパートナー企業から提案するもの。

今回は、スポーツ課がウイングに向けてこの要綱を制定しているが、他の課でも対応できるよう全ての施設を対象とした要綱の新設である。公布の日から施行する。

○議案第78号 白馬村ネーミングライツパートナー選定委員会設置要綱

[生涯学習スポーツ課長]先ほどの要綱に関して応募があったとき選定委員会を行うもの。その選定委員会の設置要綱である。第1条の趣旨で、ネーミングライツパートナー選定委員会の運営その他必要な事項について定めている。所掌事務は、実施要綱の審査に関すること、それからパートナーの選定に関するものをこの選定委

員会で行う。第3条の組織は、委員については副村長、教育長、総務課長、担当の課長、その他村長が適当と認める者。この要綱は公布の日から施行する。

[委員]なぜウイングなのか。

[生涯学習スポーツ課長]ジャンプ台、スノーハープも五輪マークがついており、宣伝効果もあって五輪マークを外したくないという考えもある。調整も難しい。ワールドワイドパートナーが新たに決定したら、そこを交渉して、ジャンプ台の五輪を外さず、そういったスポンサーにパートナーになってもらいたいと考えている。手始めにウイングで行い、ウイングの五輪は外す。五輪スポンサー以外で募集する。

[委員]具体的な収益、効果は。

[生涯学習スポーツ課長]ウイングは年間200万円ぐらいで、それを維持管理費に充てる。あまり高くすると、何年も企業が決まらず、その都度金額を下げるという事例もある。200万円だと応募者がいないかもしれない。そうしたら価格を下げる可能性もある。

[委員]募集はネットか。

[生涯学習スポーツ課長]ネットで募集して、書類は郵送。

[委員]愛称を企業が指定してくるだろうが、ウイング21という名称は残るのか？

[生涯学習スポーツ課長]残らない場合もある。

[委員]要綱の中には、積極的に愛称を周知すると書いてあるが、例えばウイングが何か新しい名称になったとき、ウイングで何か催しをやる際、当然チラシを作る。そこに、もしウイングが入っていないと、これはどこだという話しになるのではないか。例えばウイング21という名称が外れた場合、カッコ書きでウイング21とか使えるのか。

[教育長]旧称としては言えると思うが、通称使っている名称は、だいたい前か後に残す場合が多いようだ。

[委員]第8条第4項の契約期間は5年期間となっている。期間ではなく間で良いのでは。

[生涯学習スポーツ課長]4月から3月で1年間なら良いが、例えば8月や9月から年度の途中でスタートして4年8か月や4年2か月といった5年より短い場合を想定した。他市町村の要綱はそういう表現を使っているので期間とした。

これはオールマイティーにどの施設でも使える要綱で、それ以外に、ウイングネーミングライツ募集要綱といったもう少し細かい要綱も作る予定。そこに、例えばウイングは必ず残すものとするなど定めることは可能。逆にウイングを残しても、村外の人にしてみるとウイングってどこだろうとなることも考えられる。

[委員]第10条第4項の通知書名が、様式第2号には「次点優先交渉者」も書いてあるので、落ちているのでは。

[生涯学習スポーツ課長]様式が正しいので、条文を修正する。

[委員]5年期間とあるので5年ごとで更新するのか。

[生涯学習スポーツ課長]5年や7年を見たことがあるが5年が多い。できれば継続して、少なくとも5年間ぐらいは続けてほしい。200万円いなくても、例えば180万円でもその他提供するサービスも募集するので、このようなサービスがあるなら180万円でも良いとなることも想定して準備を進めている。

・全員賛成で可決された。

5 その他

・ヒスタミン食中毒について

教育次長が保護者説明会資料により経過、原因、改善方法説明。

・スキー大会関連について

[生涯学習スポーツ課長]1月に入ると県大会週間があり、1月末に全日本選手権ノルディックコンバインドが白馬で行われる。白馬少年クロスカントリーが1月の25・26日。2月2日に五竜クロス、8・9日に白馬少年ジャンプとノルディックコンバインド。11日から白馬少年のアルペンK2。

19日からは今シーズン2回目になる全国高校選抜のノルディックがある。3月は Far East CUP がある。

・学びの改革リーディング校支援事業について

[教育長]対象の学校が県内で10校決まり、その2番手のリーディング校支援事業を学びの改革支援課で検討し、各地区のバランス等を考え、白馬村立白馬南小が選ばれた。財源を付け、講師の加配を認めるということ。南小では子どものやりたい、やってみたいの実現に向けて学校づくりを進める。新年度の4月から2年から3年間。その成果を地域の学校へ広めていきたい。加配の講師、あるいは教育支援員の充実等を考えていきたい。年明けから具体的な支援等について検討していく予定。

・白馬北小ジャンプ台プロジェクトについて

[教育長]4年生を中心に小ジャンプ台の改修計画に取り組んでいる。今朝の折り込みチラシを見ていただき、協力いただけると、ありがたい。

・白馬北小校内教育支援センター設置について

[教育次長]白馬北小の旧共同調理場の北側、教室1つぐらいのスペースが丸々空いている。今年度の神城教員住宅解体工事費が工法の変更等で余剰が出ている。そのお金を使って改修工事をしたい。教室のように整備して、日中は北小が不登校支援や少人数支援、学校運営委員会のボランティアの拠点の場にしたい。夕方は放課後子ども塾に使い、多目的に使えるように整備をしたいと考えている。事務室も改装して、ボランティアの休憩室にしたい。年明けから着手しようと進めている。

当初の予算説明と違う事業なので、議会にも説明した。現場も見えていただき理解していただいた。

・1月の日程について

[教育次長]資料により説明。

次回定例会日程案

令和7年1月29日(水)午後1時半から。

署 名 欄	
教 育 長	
教 育 長 職 務 代 理 者	
委 員	
委 員	
委 員	